



健康で豊かな国民生活を保健医療福祉情報システムが支えます

平成28年度 保健福祉システム部会業務報告会

特定健診・特定保健指導 第三期に向けた変更点について

平成29年2月15日

健康支援システム委員会

委員長 鹿妻 洋之

本日のトピックス

- 委員会構成と本年度の成果（見込み）
- 経産省事業について
- 特定健診・保健指導第三期見直し項目について

委員会構成と本年度の活動成果（見込み）

健康支援システム本委員会

委員長：鹿妻、副委員長：木内、井上

- 全体情報共有／周知
- 勉強会の開催
- 外部への委員派遣



- 行政講師による勉強会（厚労・経産）
- 経産省検討会・WG
- 厚労省特定健診等実務者WG・作業班

健康情報技術WG

WG長：木内

- 健康診断結果報告書規格の策定



- 日本HL7協会とのJoint-WGを中心に普及活動実施中。

データ分析・活用モデル検討WG

WG長：岩田、副WG長：安東

- 保険者システム／中央団体システムにおける、データヘルス等分析システムの課題検討



- データ分析関連調査
- 保険者協議会意見交換会

本日のトピックス

- 委員会構成と本年度の成果（見込み）
- 経産省事業について
- 特定健診・保健指導第三期見直し項目について

企業保険者等が有する個人の健康・医療情報を活用した行動変容促進事業

平成29年度概算要求額

9.0億円（新規）

最終予算案では、6.0億円

資料 5

事業の内容

事業目的・概要

- 糖尿病等の生活習慣病領域では、各個人の生活習慣や行動をいかに効果的に変容させられるかが大きな課題です。
- このため、IoT機器（ウェアラブル端末等）やその取得データを活用して、糖尿病等の予防・改善を図る実証研究を実施し、行動変容を促すアプローチの方法や、そのためのソフトウェア等の開発につなげます。
- 具体的には、介入群／対照群を設けるなど、科学的に検証可能なデザインで研究を実施し、健康情報等を活用した介入の効果を明確に検証します。
- 同時に、本実証事業や平成27年度補正予算事業（※）等を通じて得られる健康情報等を蓄積し、当該データを解析することを通じて、より効果的な行動変容等につながるアルゴリズムやアラートシステム等の開発など、革新的かつ効果の高い機器や手法等の開発を促進します。

※平成27年度補正予算事業「IoT推進のための新産業創出基盤整備事業（企業保険者等が有する個人の健康・医療情報を活用した行動変容促進事業）」

成果目標

今年は3.0億

- 平成31年度まで3年間に及び、2千人（適宜拡大）程度を対象にデータ収集を実施。得られた健康情報等を活用し、行動変容の促進や糖尿病等の改善につながるアルゴリズムを開発します。

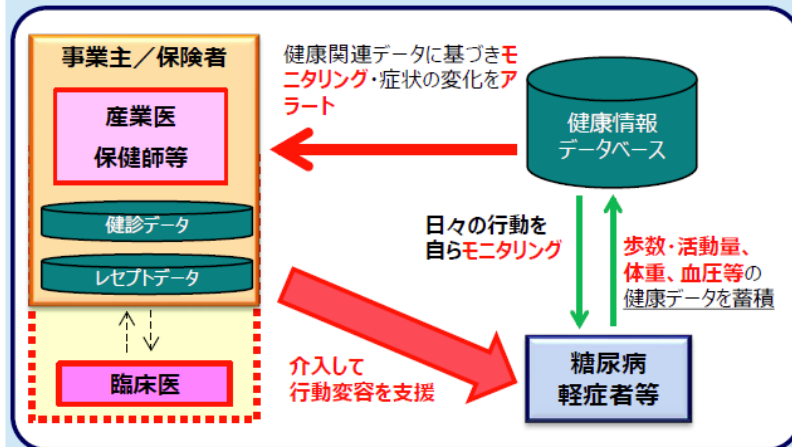
条件（対象者、対象行為、補助率等）



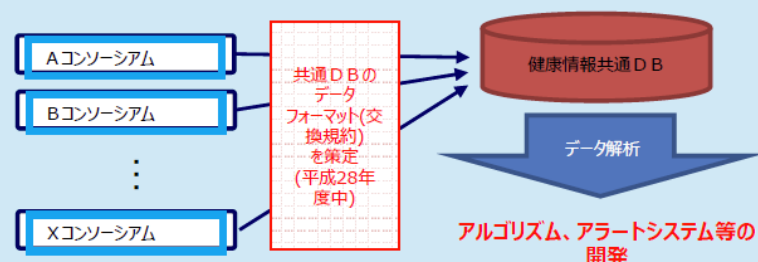
今年は三菱総研が管理団体

事業イメージ

（1）糖尿病軽症者等に対する実証



（2）取得データの管理、分析・研究



交換規約は来年度事業での実装が必須

交換規約ワーキング・グループ（WG）

- 各コンソーシアム内においてデータを保有し、その活用を図るとともに、事業管理支援法人（株式会社三菱総合研究所）において、各コンソーシアムの健康データを格納する共通データベース（共通DB）を構築することとしている。
- 健康データのデータ形式は機器やメーカー、システム等により異なるため、共通データベースの構築にあたっては、データ交換規約の策定が必要となる。

【有識者（敬称略）】

◎大山 永昭 国立大学法人東京工業大学 科学技術創成研究院 教授（座長）

小尾 高史 国立大学法人東京工業大学 科学技術創成研究院 准教授（座長代理）

大神 明 学校法人産業医科大学 産業生態科学研究所 作業関連疾患予防学 教授

山本 隆一 一般財団法人医療情報システム開発センター理事長／自治医科大学 客員教授

【業界団体】

一般社団法人 保健医療福祉情報システム工業会（JAHIS）

一般社団法人 電子情報技術産業協会（JEITA）

【デバイスベンダー】

アークレイ株式会社、株式会社エーアンドディー、オムロンヘルスケア株式会社、株式会社タニタ、
テルモ株式会社、山佐時計計器株式会社

【事業採択コンソーシアム（システムベンダー）】

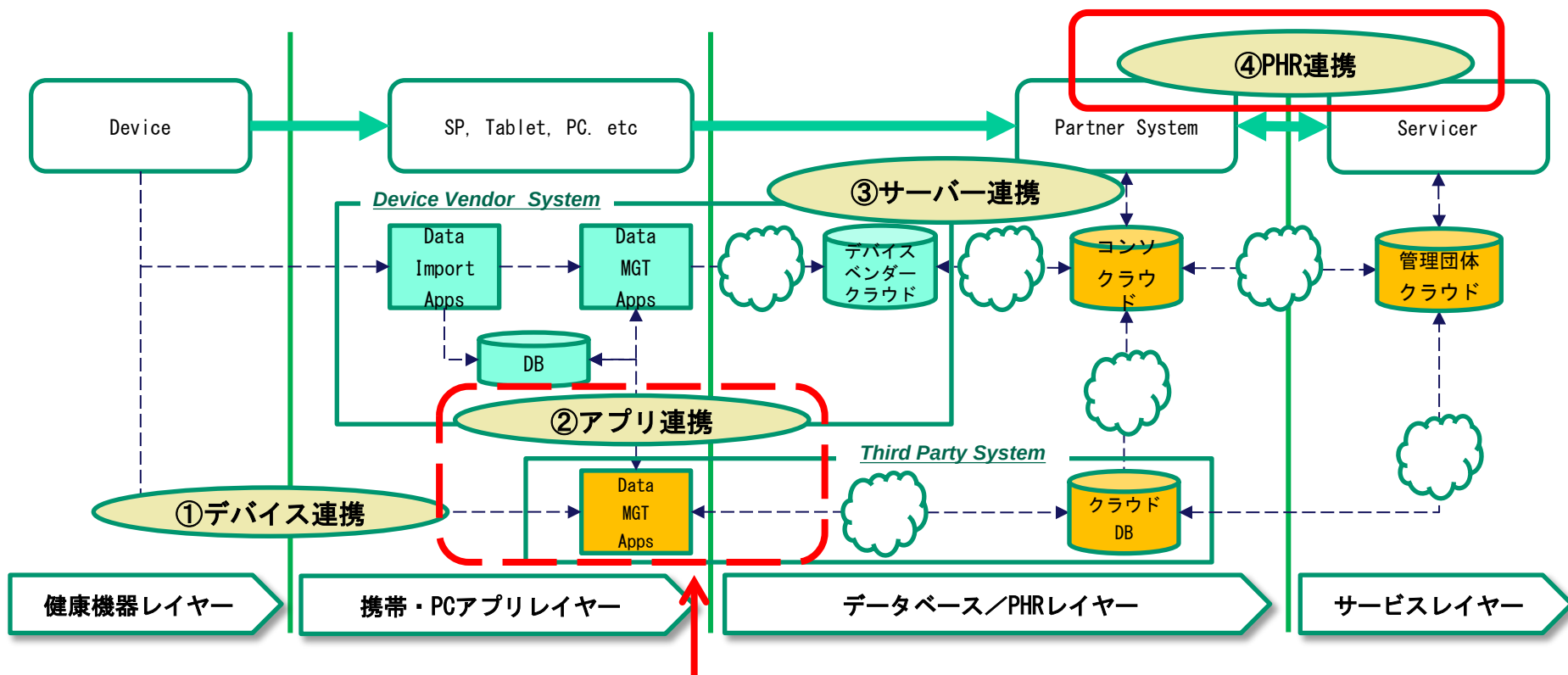
各コンソーシアムの技術担当者

【事業管理支援法人】

共通データベース構築事業者

交換規約活用の前提となるシステム構成イメージ

- デバイスから出力されるデータは、様々なルートを経由してPHRに取り込まれていく。
- 一方で、デバイス性能面での制約から、軽いフォーマットを考える必要がある。 今年は、この取り込みに利用



中長期で意識したいのは、この部分。お薬手帳・かかりつけ医手帳・疾病管理手帳等へのデータ取込み。

健康情報交換規約定義書

健康情報等交換規約定義書

平成 28 年 12 月

IoT推進のための新産業モデル創出基盤整備事業
(企業保険者等が有する個人の健康・医療情報を活用した行動変容促進事業)
交換規約検討のためのワーキンググループ

目次

1	図例	1
2	適用範囲	2
3	用語の定義	3
4	考慮した関連データベースの範囲	4
5	関連する成果物、規格等	5
6	文庫コード	6
7	提出ファイルのfile形式	7
8	データ形式	8
8.1	関係情報、検査情報	7
8.1.1	検査管理・検査依頼の基盤構造	8
8.1.2	検査管理	9
8.1.3	検査情報	16
8.2	リスト情報	19
8.2.1	リスト情報の基盤構造	19
8.2.2	コンソーシアムリスト	20
8.2.3	参加者リスト	23
8.2.4	医療体監査機関リスト	23
8.2.5	検査者リスト	24
8.2.6	送達受取検査結果受付機関リスト	24
8.2.7	HbA1c測定者リスト	26
9	検査情報	27
9.1	検査者リスト	27
9.2	依頼者リスト	27
別添1	関係情報等送達形式データ・フォーマット定義一覧	28
(1)	検査データ項目定義	29
(2)	リストデータの項目定義	36
①	コンソーシアムリスト	36
②	参加者リスト	38
③	医療体監査機関リスト	38
④	検査者リスト	40
⑤	送達受取検査結果受付機関リスト	42
⑥	HbA1c測定者リスト	42
別添2	コード表	44
(1)	検査データ項目	44

⑩	データ入力コード(項目番号:14, 26, 40, 48, 59)	45
⑪	保険修正コード(項目番号:15, 49)	46
⑫	運送費計算補正コード(項目番号:14)	47
⑬	受取金コード(項目番号:39)	48
(B)	リターンコード	47
	① 色別コード(参加者リターン 項目番号:40)	47
	② 新設契約コード(参加者リターン 項目番号:48 既設団体参加リターン 項目番号:49)	47
	③ 継続更新コード(参加者リターン 項目番号:48)	49
	④ 廃業脱退コード(参加者リターン 項目番号:48, 19, 50)	49
	⑤ 延滞終了理由コード(参加者リターン 項目番号:20)	49
	⑥ 検査履歴コード(請求リターン 項目番号:3)	50
	⑦ 検査出力印刷修正コード(請求リターン 項目番号:7)	50
	⑧ 採血医臨床検査コードコード(検査リターン 項目番号:48)	51
	⑨ 血圧測定履歴コード(検査リターン 項目番号:12)	51
	⑩ 血液検査結果通知コード(検査リターン 項目番号:18)	51
	⑪ 計測日経記録コード(検査結果確認履歴印刷履歴リターン 項目番号:2)	51
	⑫ 計測可能記録コード(検査結果確認履歴印刷履歴リターン 項目番号:1)	51
	⑬ 血圧測定履歴コード(HbA1c測定履歴リターン 項目番号:3)	52
別紙	JOHN サンプル	53

- JSON形式を採用。
- 完成形ではなく、今後に向けた課題も残る。（分析観点では、属性情報の追加が求められている。）
- http://www.meti.go.jp/committee/kenkyukai/shoujo/jisedai_healthcare/kenkou_toushi_wg/kenkou_iryuu_joho/01_teigisho.html

本日のトピックス

- 委員会構成と本年度の成果（見込み）
- 経産省事業について
- 特定健診・保健指導第三期見直し項目について

本パートについては、別刷り資料が詳細版となりますので、併せてご覧ください。
（当日参加者、および、健康支援システム委員会委員限定）

保険者による健診・保健指導等に関する検討会 平成29年1月19日

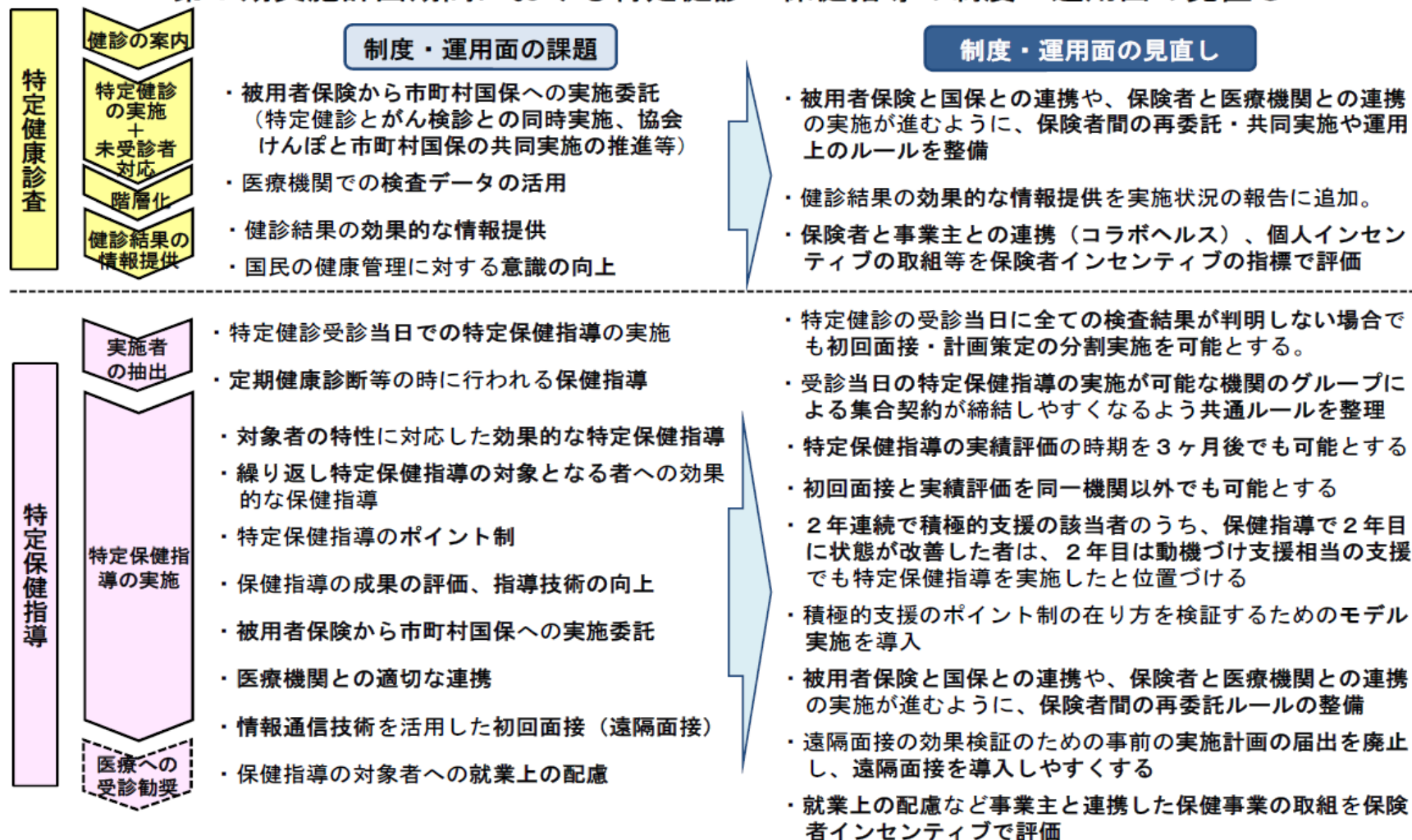
- 第3期特定健康診査等実施計画期間（平成30年度～35年度）における特定健診・保健指導の運用の見直しについて（議論のまとめ）
 - <http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/0000149240.html>

↓ここがメイン

- 本検討会では、**保険者による特定健診・保健指導を着実に実施し、保険者全体で更なる実施率の向上を達成する観点**から、第3期特定健康診査等実施計画期間（平成30年度～35年度）（以下「第3期実施計画期間」という。）における制度の運用の見直しについて、以下のとおり検討結果をとりまとめた。運用方法の詳細や平成29年度中に行うシステム改修に必要な要件定義・仕様については、本検討会の下に設置した実務担当者によるワーキンググループで検討を行う（※）。**（作業班も設置）**
- （※）厚生労働省では、今回のとりまとめを踏まえ、第3期実施計画期間の実施に向けて、関係法令等の見直しを行い、保険者、健診実施機関等の関係者への周知・説明を行う。
- なお、保険者の厳しい財政状況や専門職の限られた人的資源の中で、更なる実施率の向上を達成するためには、制度の運用の見直しだけでなく、例えばICTの活用など現場での効率化の工夫や運用の改善が欠かせない。
- このため、本検討会では、引き続き、第3期実施計画期間において、更なる運用の改善を含め、本事業の実施状況の検証、検討を行っていく。

- 新規エビデンスや知見に伴う変更は少ない。
- 保健指導の実施率が上昇しない中で、実績を上げていくための工夫が多数取り込まれている。
- モデル事業や、データヘルスでの活用を企図した管理項目の追加も予定されている。

第3期実施計画期間における特定健診・保健指導の制度・運用面の見直し



※上記ほか、歯科口腔関係の質問票見直しに伴う保健指導や、看護師が特定保健指導を行える経過措置など制度・運用面に対応

特定健診関係

- 健診項目
 - nonHLDコレステロールの追加
 - 随時血糖に関するルール整備
 - 詳細な健診項目の実施に関するルール変更
 - 心電図
 - 眼底検査
 - 血清クレアチニン
 - 情報提供の方法に関する項目の追加
- 問診項目
 - 入れ替え 1 件
 - 回答選択肢変更 1 件
 - 質問表記の微修正 5 件

WG資料は非公開のため、詳細は別刷り資料にて解説します。

保健指導関係

- 初回面談の同日実施に対する対応
 - 検査項目がそろっての同日実施
 - 検査項目がそろわない場合の初回面談の分割実施
- 実績評価最短期間の変更
- 従来の動機づけ・積極的支援以外の保健指導パターンへの対応
 - 積極的支援該当者における2年目特例要件の整備
 - 手上げ方式によるモデル実施対象者の識別フラグ
- 保健指導情報へのテキストデータ記載フィールドの追加
- 初回面接と実績報告の同一機関要件の緩和
 - 委託先保健指導機関情報パートにおける主対応内容のコードパターン変更
 - 記載委託機関に関する条件変更（P）

WG資料は非公開のため、詳細は別刷り資料にて解説します。

その他

- 個人識別のための整理番号追加
 - 保険者からの報告ファイルに留めるかは議論中

WG資料は非公開のため、詳細は別刷り資料にて解説します。



健康で豊かな国民生活を保健医療福祉情報システムが支えます

END